

クオリティインディケーター（QI）成果報告

【皮膚科】

指標名

皮膚悪性腫瘍手術件数

目標：ゴール

人口の高齢化に伴い、皮膚悪性腫瘍罹患率は増加傾向にあるが死亡率は減少していない。年間の手術件数を300件以上に向上させる。

目標：ゴール達成による効果

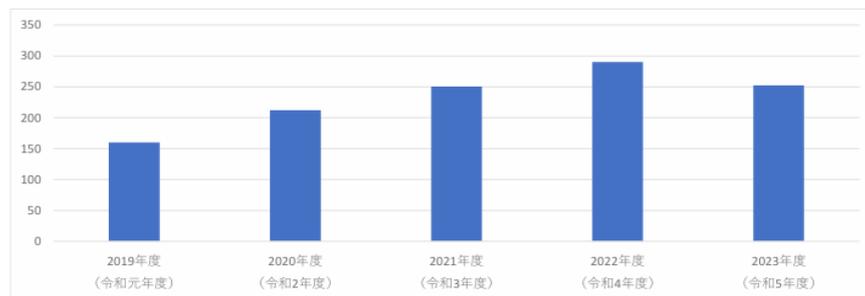
年間の手術件数を向上させ、皮膚悪性腫瘍の早期発見、早期治療で、QOL、ADLの向上を図る。

目標：ゴールに対する成果の状況

2022年度 250件

2022年度 290件

2023年度 252件



目標：ゴール達成度

- S : 大幅な目標を上回った
- A+ : 目標を多少上回って達成
- A : 目標を達成
- B+ : 目標を少し下回った
- B : 目標を下回った
- C : 目標を大幅に下回った
- : 外的要因より継続困難となった

目標：ゴールの課題・改善策

皮膚科が内科系診療科組み入れられ、皮膚手術の担い手が減少傾向にあり、皮膚外科が世間的にも認知されなくなり、手術件数は減少傾向にある。また、皮膚病変はは目に見えるため、患者さん自身や家族が発見すること多いがプライベート部分にも発生することもあり、老若男女を問わず診察をためらうことが多く、進行してから医療機関を受診し、治療が遅れることがある。当科では皮膚腫瘍の治療が可能であることと男性医師、女性医師が必要に応じて対応することとを病診連携の会などで広く、お知らせし、皮膚腫瘍を有する患者数の増加を図る。